

第4期

久留米市

食料・農業・農村

基本計画

「魅力ある農業都市・久留米の
持続的発展」

【令和8年度実施計画】

久留米市

1 令和8年度久留米市予算の概要

久留米市の令和8年度の農林水産業予算は約46.6億円で、一般会計歳出予算1,677.6億円の約2.8%となっています。

【久留米市一般会計予算 歳出】

	令和8年度 予算額
歳出予算合計	1,677.6億円
農林水産業費(全体予算比)	46.6億円(2.8%)

【農林水産業費(目的別)】

区分		金額(千円)
農業費		4,340,301
	農業委員会費	152,862
	農業総務費	645,980
	農業振興費	1,606,568
	畜産業費	198,874
	農地費	1,102,246
	国土調査費	1,095
	農業開発費	632,676
林業費		313,607
	林業総務費	63,132
	林業振興費	250,475
水産業費		3,258
	水産業振興費	3,258
合 計		4,657,166

【特別会計】

事業名	金額(千円)
卸売市場事業	383,000
農業集落排水事業	282,000

2 第4期計画の施策体系

- (1) 基本的な考え方 「市民みんなで参加する久留米の食と農」
 (2) 全体目標 「魅力ある農業都市・久留米の持続的発展」

指標項目	単位	基準値 (R7年度)	目標値 (R12年度)
農業産出額	億円	310 (R5年)	358 (R11年)
担い手への農地集積率	%	80.8	81
農業都市・久留米の愛着度	%	89.7	90

(3) 基本施策

条例の「食料」「農業」「農村」の各分野の基本理念を踏まえ、各基本施策を推進します。

また、国・県や農業団体等と連携するとともに、農業分野以外の関係団体等との連携や市民との協働の視点を意識しながら各事業を実施します。

基本施策	主要施策
基本施策Ⅰ 生産性・収益性の向上と高付加価値化の促進	1 農畜産物の振興
	2 効率的な生産体制の確立
	3 安全で安定的な農畜産物の提供
	4 農業経営の多角化の促進
基本施策Ⅱ 担い手の育成・確保と多様な人材の活用	1 基幹的な担い手の経営力強化
	2 将来の担い手の育成と確保
	3 多様な担い手と人材の確保
基本施策Ⅲ 持続可能な生産基盤の維持・確保	1 生産基盤の整備と防災・減災対策の推進
	2 農地の有効利用の促進
	3 環境と調和した農業の推進
共通施策 食料・農業・農村の理解促進	1 「農業都市・久留米」の魅力発信によるブランド力向上
	2 地産地消を通じた魅力発信
	3 食料・農業・農村に関する理解促進

3 施策ごとの「令和8年度実施計画」

【基本施策Ⅰ】 生産性・収益性の向上と高付加価値化の促進

高い生産力で高品質な農産物の生産を維持するため、スマート農業などの生産施設や機械等の導入支援により、少ない労働力で収益性の高い農業を目指し、競争力のあ
る産地を育成します。

また、所得向上を目指して、6次産業化や農商工連携など農業経営の多角化に挑戦
する農業者を支援します。

指標項目	単位	基準値 (R7)	目標値 (R12)
米の高温耐性品種の作付面積	ha	867 (R6)	1,680
米のスマート農業技術活用割合	%	27	33
GAP の認証取得数	件	6	11
6次産業化の支援件数	件	21	25

R 8 年度 実施計画

担当課

1 農畜産物の振興

米麦大豆の振興

経営所得安定対策事業（予算 56,987 千円）

農業経営の安定を図るため、国の経営所得安定対策事業を活用し、需要に応じた米・麦・大豆等の生産を促進し、農業者の所得向上を図る。

・主な交付金

畑作物の直接支払交付金（ゲタ）

米・畑作物の収入減少影響緩和交付金（ナラシ）

水田活用の直接支払交付金（戦略作物・産地）

（事業主体：久留米市水田農業推進協議会）

水田農業担い手機械導入事業（予算 52,040 千円）

土地利用型農業において、農作業の集約化、生産コスト低減及び生産規模の拡大に取り組む担い手（集落営農法人、集落営農組織及び認定農業者等）に対し、高性能農業機械の導入並びに大規模な改修に要する経費を支援する。

補助率：県1/3、市1/6

水田農業 DX 推進事業（予算 170,159 千円）

水田農業において、デジタル技術の活用による生産管理の効率化並びに経営規模の拡大に取り組む担い手（集落営農法人、集落営農組織及び認定農業者等）に対し、スマート農業機械の導入に要する経費を支援する。

補助率：県 1/3、市 1/6

暑さに負けない水田種子対策事業（新規）（予算 3,300 千円）

気候変動に対応した生産の展開を図るため、暑さに強い「元気つくし」等の作付け拡大に必要な種子専用乾燥機の導入経費を助成するもの

補助率：県1/2、市1/20

生産流通課

ふるさと農業活性化対策事業（予算 600千円） 競争力ある土地利用型農業の確立を図るため、生産組織の育成、環境負荷の低減、先導的技術導入などに係る経費を支援する。 ・補助率： [ハード] 4/10 [ソフト] 1/2	生産流通課
野菜・果樹・花きの振興 活力ある高収益型園芸産地育成事業（予算 685,388 千円） 園芸農業の持続的な発展を図るために、先進技術の導入や、省力機械・施設等の生産条件の整備に対して支援する。 ・補助率：県1/2 又は1/3、市1/20 産地生産基盤パワーアップ事業（予算 282,891 千円） 園芸農業の持続的な発展を図るため、省力栽培施設等の生産条件の整備等を支援する。 ・補助率：国 1/2、市 1/20 園芸農業 DX 推進事業（予算 136,998 千円） 物価高騰に伴う生産コストの上昇を受け、燃料や農薬使用量の低減、省力化につながるスマート農業機械の導入を推進。 ・補助率：県 1/2 、市 1/20 暑さに負けない！園芸対策強化事業（新規）（予算 83,900 千円） 気候変動に対応した生産の展開を図るため、夏期の高温対策のための機械・施設の導入を推進する。 ・補助率：県1/2 又は1/3、市1/20	生産流通課
緑花木の振興、花きの振興 商談会等出展支援（予算 300 千円） 展示会や見本市等に出展し、販路開拓に取り組む農業者等を支援する。 ・補助率：1/2（上限 100 千円） 生産団体等への支援（予算 4,836 千円） 緑花木関連団体や花き生産・流通団体等が実施する生産技術向上のための研修会や、PR イベント等への取組に対して支援を行う。 フラワー都市交流事業（予算 895 千円） 全国 8 都市の加盟都市が一堂に集うフラワー都市交流連絡協議会総会及び関連事業に参加し、久留米つつじの魅力を PR する。 日 時：令和 8 年 6 月 27 日～29 日 開催自治体：中富良野町	農業の魅力促進課
畜産の振興 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(畜産クラスター事業)(新規)(予算 71,126千円) 畜産の収益性、持続性、社会的価値を高めるために必要な施設整備等を支援。 ・補助率：国1/2以内、市1/20以内 ふくおかの畜産競争力強化対策事業（予算 80,904千円） 畜産農家の飼養規模拡大や畜産物の生産量増加を図るため、畜舎や飼養管理機械等の整備に対して支援を行う。 ・補助率：県 1/2 又は 1/3、市 1/20	生産流通課

博多和牛ブランド強化対策事業（予算 14,395千円） 県産ブランド肉牛「博多和牛」の生産拡大と生産者の経営安定に資するため、もと牛（子牛）の購入経費に対して支援を行う。 ・補助率（額）：52 千円/増頭数 優良乳用基礎雌牛導入事業（予算 1,800千円） 酪農経営における乳質、乳量の向上を図るため、優良雌牛・受精卵の導入に係る経費を支援する。 ・補助率：優良雌牛 1/5 受精卵 1/2 乳牛共進会事業（予算 451千円） 畜産技術の向上や後継者の育成を図るとともに、市民への畜産の理解促進や消費拡大を図るため、共進会の開催に係る経費を支援する。 ・補助率：1/2 酪農経営活性化推進事業（予算 813千円） 生産性の高い酪農経営を図るため、高度な経営や技術の指導、研修会等を実施し、酪農経営の合理化、安定化を図る。 ・補助率：1/2 酪農ヘルパー利用組合強化対策事業（予算 3,740千円） 酪農経営における定期的な休日確保ができる体制の整備を促進するため、ヘルパー組合に対して支援を行う。 ・補助率：1/3 畜産経営環境整備施設改善事業（予算 150千円） 地域社会と調和した畜産経営の確立に資するため、畜産環境施設及び付帯する機械の整備に対して支援を行う。 ・補助率：1/2 水産の振興 内水面漁業振興対策事業（予算 1,485千円） 筑後川における内水面漁業の振興と発展を図るために、漁業協同組合等が行う水産資源増産に関する事業や外来魚駆除や河川清掃等の河川環境保全活動への支援を行う。	生産流通課
---	-------

2 効率的な生産体制の確立

<u>活力ある高収益型園芸産地育成事業（再掲）</u> <u>産地生産基盤パワーアップ事業（再掲）</u> <u>園芸農業 DX 推進事業費補助金（再掲）</u> <u>暑さに負けない！園芸対策強化事業（再掲）</u>	P 4 参照	生産流通課
<u>ふくおかの畜産競争力強化対策事業（再掲）</u> P 4 参照		

3 安全で安定的な農畜産物の提供

GAP推進事業（予算 164 千円） 食品安全、環境保全、労働安全等を考慮した生産工程管理の取組である GAP の認証取得等に係る費用を支援する。 ・補助率：1/2	生産流通課
野菜価格安定対策事業（予算 4,553千円） 国の事業を活用し、野菜の生産が、自然環境などの影響で市場価格が大きく下落した場合に補填を行う。 ●特定野菜等供給産地育成価格差補給事業 ・資金造成割合：国1/3、県1/3、市1/15、生産者4/15（※負担割合の例外品目の場合：国1/2、県1/4、市1/20、生産者1/5）	
●野菜生産出荷安定事業 ・資金造成割合：県4/10、市1/10、JA 1/10、生産者4/10 （事業主体：ふくおか園芸農業振興協会）収量減少、自然災害などのリスクに対し農業者自ら備えるよう、加入啓発・促進に取り組む。	
卸売市場の施設整備（主な改修工事）（予算 60,755 千円） ・水銀灯 LED 更新設計 ・市場トイレ改修工事設計 ・新物流システムセンター庇上鉄骨塗装設計 ・北門警備室横中央卸売市場大看板撤去新設 ・劣化排水管改修（第一区画） ・青果棟仲卸通路 LED 改修工事 ・大ジャバラ改修、小ジャバラ撤去工事	中央卸売市場

4 農業経営の多角化の促進

6次産業化等チャレンジ支援補助金（予算 2,600 千円） 農業者及び農業団体等、教育機関、食品関連企業が久留米産農産物を活用した農産加工品の開発や加工商品の改良などに係る取組について、支援を行う。 ・商品開発、商品改良、販路拡大：補助率 1/2（上限 500 千円/件） ・農家民泊、農家レストラン整備：補助率 1/2（上限 500 千円/件） ・コンサルティング支援：補助率 1/2（上限 300 千円/件）	農業の魅力促進課
6次産業化等スタートアップ事業（予算 475 千円） 6次産業化に関する相談会、相談者の農地・加工場へのアドバイザーの派遣を行い、新規の6次産業化に取り組む農業者等の掘り起こしを行い、更なる推進を目指す。 ・相談会、アドバイザー派遣	
6次産業化等アドバイス会（新規）（予算 79 千円） 6次産業化商品を食のプロなどに試食してもらい、商品の改善点等のアドバイスをもらうことで、より付加価値の高い商品を目指す。	
6次産業化マルシェ（予算 400 千円） 6次産業化商品をテスト販売し、商品の魅力向上や消費者ニーズの把握など、より付加価値の高い商品へ改良につながるようマルシェを開催する。	

<u>農商工連携の商品開発支援</u> 農業者と商工業者が新しい商品やサービスの開発・提供、販路の拡大などの取り組みに対して支援を行う。農業者側と商工者側の課題や状況を把握し、効果的なマッチングを進める。	農業の魅力促進課
<u>商談会等出展支援事業</u> （予算 300 千円）※再掲 展示会や見本市等に出展し、販路開拓に取り組む農業者等を支援する。 ・補助率：1/2（上限 100 千円/件）	
<u>農産物の輸出支援事業補助金</u> （予算 600 千円） 農業団体等が行う農産物の輸出に対する取組を支援する。 ・団体：補助率 1/2（上限 400 千円/件） ・個人：補助率 1/2（上限 200 千円/件）	
<u>久留米産農産物の販路開拓支援及び PR</u> （予算 400 千円） 海外バイヤー等が参加する商談会等に出展し、バイヤーとの商談を通じて久留米産農産物の海外への販路拡大を支援する。 （事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会）	
<u>農産物輸出講演会・相談会</u> （予算 88 千円） 農産物の輸出を始めたい、興味がある農業者等に対し、外部講師等呼んで講演し、個別に相談会を行う。	

【基本施策Ⅱ】 担い手の育成・確保と多様な人材の活用

農業者や就農希望者が夢を持って営農できるように、県や農業団体等と連携して、基幹的担い手である認定農業者や将来を担う青年就農者の育成・確保を図るとともに、女性農業者の経営参画を促進します。

また、農業生産力の維持・拡大のため、小規模農家や外国人材、農福連携など多様な担い手と人材の確保に向けた取組みを推進します。

指標項目	単位	基準値 (R7)	目標値 (R12)
認定農業者の法人化率	%	14.7 (R6)	16.5
認定農業者における女性の割合	%	7.3 (R6)	10.0
認定新規就農者の認定農業者への移行数	件	49 (R6)	76

R 8 年度 実施計画

担当課

1 基幹的な担い手の経営力強化

認定農業者の認定 農業経営改善計画の作成支援や再認定の際にフォローアップを行うとともに、電子申請の活用など、申請の効率化を図る。	農政課
農業経営支援研修会（予算 606 千円） 認定農業者等の経営力（経営改善・知識の習得）向上を図るため、農政情報の発信や農業経営の参考となる研修会等を開催する。 （事業主体：担い手育成総合支援協議会）	
認定農業者協議会活動支援（予算 1,950 千円） 認定農業者の組織活動を通じた研修会や消費者との交流事業に対して支援を行う。	
集落営農法人化支援事業（予算 1,000 千円） 集落営農組織が法人化する場合に、法人設立時の初期費用や人材育成、確保等に係る費用を支援する。 ・補助額：1 年目 1,000 千円/組織 2・3 年目 500 千円/組織	
女性農業者の経営参画支援 県の事業等の活用もしながら、女性農業者の経営発展や経営参画に向けた取組に対して支援を行う。	
就農女性のネットワーク構築支援（予算 50 千円） 女性農業者の経営力向上やネットワーク構築を図るため、県普及指導センターや JA と連携し、若手女性農業者等を対象とした研修会・交流会を開催する。	
女性農業者の活動支援（予算 270 千円） 女性農業者のグループが実施する研修会等の活動支援を行う。	

女性認定農業者の推進 女性の農業経営への参画を促す手段として、認定農業者の共同申請や家族経営協定の締結に向け、認定農業者・新規就農者の相談会や研修会等で周知・啓発を図る。	農政課
男女共同参画に向けた意識啓発 各種協議会や農業団体等に対し、男女共同参画に向けた啓発を行う。	

2 将来の担い手の育成と確保

新規就農者育成総合対策（予算 79,500 千円） ●経営開始資金（予算 22,500 千円） 国の事業を活用し、普及指導センターや JA、農業委員会等と連携を図りながら、新規就農者の就農直後 3 年間の経営確立を支援する。 ・補助額：最大 1,650 千円/年（国 10/10） ●経営発展支援事業（予算 57,000 千円） 国事業を活用し、新規就農者が初期投資として行う機械・施設の導入等を支援する。 【通常枠】 ・補助対象事業費：最大 10,000 千円 ・補助率：国 1/2、県 1/4、本人 1/4 【地域計画早期実現支援枠】 ・補助対象事業費：最大 18,000 千円 ・補助率：国 1/3、県 1/6	農政課
経営確立に向けた研修（予算 84 千円） 新規就農者が早期に安定した農業経営を確立するための講座やネットワークの構築に向けた研修会等を開催する。（営農基礎講座、新規就農者のつどい） （事業主体：担い手育成総合支援協議会）	
海外研修支援（予算 300 千円） 海外研修に参加するチャレンジ精神旺盛な農業経営者を支援する。 ●農業後継者海外研修事業 国際的視野を持つ農業後継者を育成する海外研修への支援 ・補助額：上限100千円（市1/4）	
次世代のリーダー育成 若手農業者や後継者を対象に、交流促進と資質向上を目的とする新規就農者自主活動グループの活動を支援する。 （事業主体：農業振興協議会）	
就農相談 県普及指導センターやJAと連携して、就農相談を実施し、青年等就農計画の作成に向けた支援を行う。必要に応じて、関係機関と連携し新規就農者に農地・ハウスの情報提供を行う。	
農業の魅力発信 本市で活躍している新規就農者や青年就農者、認定農業者、女性農業者等についてウェブや様々な機会を捉えて発信する等、本市農業や就農の魅力を発信する。	

新規就農短期研修事業 （予算 300 千円） 本格的な研修段階における研修中止や就農直後の離農を防ぎ、就農定着を図るため、新規就農希望者の就農イメージ醸成を目的とした短期研修を実施し、知識・技術の習得や地域農業者との関係構築を支援する。 ●新規就農短期研修事業費補助 短期研修を実施する農業者等への支援 ・補助額：3千円/日（最長20日間） 事業主体：久留米市担い手育成総合支援協議会	農政課
---	-----

3 多様な担い手と人材の確保

障害者雇用理解促進事業 障害者雇用に関する理解促進を図るため、農業者・農業団体等に対して法令や制度等に関する研修会等を開催する。 （事業主体：担い手育成総合支援協議会）	農政課
外国人受入環境整備事業 外国人材の活用を検討している農業者を対象に研修会を開催する。 （事業主体：担い手育成総合支援協議会）	

【基本施策Ⅲ】 持続可能な生産基盤の維持・確保

将来にわたって生産効率の高い営農を維持するため、農業生産基盤の整備や長寿命化対策を進めるとともに、災害を未然防止・減災するための農業施設の整備・改修に取り組みます。

また、地域計画を通じた地域での話合いや農地利用の見える化を進め、農地の有効利用を促進します。

本市農業を持続可能なものとするため、農業・農村の持つ多面的機能の維持・発揮や、国の「みどりの食料システム法」に基づき環境負荷低減等に取り組みます。

指標項目	単位	基準値 (R7)	目標値 (R12)
農業水利施設等整備の達成率	%	—	100
遊休農地の面積	ha	91.2	89.5
農業・農村の持つ多面的機能の維持に取り組む活動農地面積の割合	%	70.3 (R6)	75.0
有機 JAS 認証面積	ha	9.65	10.9
有害鳥獣による農産物被害額	千円	41,807	36,807

R 8 年度 実施計画

担当課

1 生産基盤の整備と防災・減災対策の推進

生産基盤の整備（予算 144,710 千円）

① 生産基盤整備事業

農業生産性の向上や大型農業機械導入による作業効率化のため、利水施設の改良、農地の大区画化、農道・用排水路整備等を実施する。

○農地の大区画化等 2 箇所

② 農業用施設整備事業

農業振興を図る地域において、農道・用排水路を整備することで、高生産性農業の促進、農業の近代化及び農村環境の改善を図る。

工 種	箇所数	整備延長 (m)	事業費 (千円)
農道整備	13	2,530	66,847
用排水路整備	10	770	62,763

農村森林整備課

農業水利施設の長寿命化（予算 93,651 千円）

① 農業水利施設保全対策事業

国・県営土地改良事業により造成された農業用水利施設について、施設の長寿命化を図るため、的確な予防保全を実施する。

○県営水利施設保全対策事業負担金 6 地区

・負担金：93,651 千円

防災・減災事業の推進（予算 615,385 千円） ① 農地防災事業 ため池・用排水施設・井堰等の改修等及び排水機場の新設を行い、洪水による災害の未然防止を図る。 ○県営農地防災事業負担金 6 地区 ・負担金：50,336 千円 ○県営水利施設整備事業負担金 2 地区 ・負担金：42,500 千円 ② 防災重点農業用ため池対策事業【R7 繰越】 防災重点農業用ため池について、「地震・豪雨耐性評価」を実施する。 ○地震・豪雨耐性評価業務 5 箇所 ・事業費：34,000 千円（財源：国 10/10） ③ 防災重点農業用ため池浚渫事業 大雨による災害の未然防止・減災効果を発揮するため、防災重点農業用ため池の浚渫を計画的に実施する。 ○ため池浚渫業務委託 2 箇所 ・事業費：70,000 千円（財源：緊急浚渫推進事業債 100%） ○ため池浚渫測量設計業務 4 箇所 ・事業費：26,109 千円（財源：緊急浚渫推進事業債 100%） ○水利施設管理強化事業 18 池（久留米 15 池、三潴 3 池） ・事業費：580 千円（財源：国 5/10、県 2.5/10） ④ 農業用施設浸水対策業 浸水被害の軽減を図るため、浸水対策効果が見込まれる農業用施設の整備に取り組む。 ○農業用施設整備工事 2 箇所 ・事業費：30,000 千円 ⑤ 流域湛水減災対策事業 筑後川下流域の浸水被害の軽減を図るため、先行排水に資するクリークの浚渫や農業用水利施設の整備・改修等に取り組む。 ○クリーク等浚渫業務委託 8 箇所（久留米 2 箇所、三潴 2 箇所、城島 4 箇所） ・事業費：198,400 千円（財源：県補助 50%、残り緊急浚渫推進事業債 100%） ○樋門樋管等改修業務委託 27 箇所（三潴 25 箇所、城島 2 箇所） ・事業費：31,675 千円（財源：緊急自然災害防止対策事業債 100%） ○樋門樋管等設計業務委託 3 箇所（三潴 1 箇所、城島 2 箇所） ・事業費：36,548 千円（財源：緊急自然災害防止対策事業債 100%） ○クリーク護岸等改修工事 5 箇所（三潴 4 箇所、城島 1 箇所） ・事業費：95,240 千円（財源：緊急自然災害防止対策事業債 100%）			農村森林整備課						
災害回避に向けた啓発・促進 県の事業を活用し、浸水防止壁の設置等に対する支援を行うなど、災害回避に向けた啓発・促進に取り組む。			生産流通課						
農業用施設の安全対策（予算 1,491 千円） ① 農業用施設整備事業 農道や用排水路、ため池などへ安全対策を施し、安全・安心な農村環境づくりに取り組む。 <table><tr><td>工 種</td><td>箇所数</td><td>事業費 (千円)</td></tr><tr><td>路面標示・防護柵等</td><td>2</td><td>1,491 千円</td></tr></table>			工 種	箇所数	事業費 (千円)	路面標示・防護柵等	2	1,491 千円	農村森林整備課
工 種	箇所数	事業費 (千円)							
路面標示・防護柵等	2	1,491 千円							

2 農地の有効利用の促進

地域計画の推進（予算 575 千円） 地域ごとの状況等に応じて、主に地域協議の場（座談会）を通じて農業者や関係者等の地域の意見を聞きながら、各地域計画を更新していく。	農政課・農業委員会
農地の大区画化・集約化推進事業（予算 1,000 千円） 農地の面的な集約化や畦畔除去による農地の大区画化の取組に対して交付する。 （畦畔除去等の簡易な整備） ・補助額：50 千円/10a 以内	生産流通課
農地パトロールの実施 関係機関等と連携し、8月から9月にかけて農地パトロールを行い、現状や課題の把握を行う。	農業委員会
遊休農地再生事業費補助金事業（予算 10,000 千円） 遊休農地を再生し、農地として利活用する認定農業者等の支援を行う。 ・補助率：1/2（上限 1,000 千円／件） ・補助の加算要件（地域農業の課題解決につながる内容）に該当する場合は補助上限額最大 1,500 千円	農政課
農地利用の最適化 システムを活用し、担い手への農地の集積・集約化を推進することで遊休農地の発生防止に努めるとともに、農地利用最適化協議会において関連機関で情報の共有化を図り、遊休農地の解消に努める。	農業委員会
農用地利用計画の一部変更 農振法の規定等に基づき、農地の確保を図りながら、適切な整備計画の管理と、申出に応じた一部変更を行う。	農政課

3 環境と調和した農業の推進

多面的機能支払事業交付金 農業・農村の持つ多面的機能の維持発揮に取り組む活動組織（107 団体）への支援を通じ、農道・用排水路等の地域資源の良好な保全管理・防災減災機能の保持に努めるとともに、田んぼダム取組推進への働きかけを行う。 - 負担率：国 1/2、県 1/4、市 1/4 - 事業費：325,884 千円(対象 107 組織) (国 162,942 千円、県 81,471 千円、市 81,471 千円) - 田んぼダム促進事業 13,197 千円	農村森林整備課
中山間地域等直接支払交付金（予算 8,468 千円） 耕作条件が不利な中山間地域の多面的機能の維持・保全に取り組む水稲集落の活動を支援する。 令和 7 年度から令和 11 年度までの第 6 期策定計画に基づき事業を実施する。 - 補助率（額）：8 千円/10a (国 1/2、県 1/4、市 1/4) - 集落協定：5 集落 約 104ha (森部、大井、二田、益永、麦生) - 事業費：8,350 千円 (国 4,175 千円、県 2,087 千円、市 2,087 千円)	農政課・田主丸産業振興課
環境保全型農業直接支払事業（予算 7,322 千円） 化学肥料・化学合成農薬を原則 5 割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援する。 補助率：国 1/2、県 1/4、市 1/4	生産流通課
有機 JAS 取得支援事業費補助金（新規）（予算 100 千円） 有機農業の普及・拡大のため、有機 JAS 認証取得にかかる費用を支援する。 補助率：定額（上限：100 千円）	
有害鳥獣広域防除対策協議会（予算 6,840 千円） 久留米地区有害鳥獣広域防除対策協議会による侵入防止柵の設置や捕獲活動を支援する。 ●有害鳥獣広域防除対策協議会補助 事業費：8,441 千円（市補助 6,840 千円） ●鳥獣被害防止総合対策整備事業 事業費 8,685 千円（国補助 8,685 千円） 事業内容：電気柵 8 戸 2,970m ワイヤー柵 25 戸 7,990m	農村森林整備課
鳥獣被害対策実施隊（予算 3,652 千円） 鳥獣被害対策実施隊により、市内全域において農作物被害防止のために、侵入防止柵の設置指導や生息調査、被害調査等及び緊急捕獲を行う。	
地域ぐるみの研修会 有害鳥獣の専門家を講師として招き放置された果樹の除去や隠れ場所になる藪の刈込みなど、鳥獣を集落内に寄せ付けないための環境づくりの研修会を実施する。	

【共通施策】 食料・農業・農村の理解促進

県内トップクラスの農業都市としての認知度やブランド力の向上を図るため、教育や商工分野などの関連団体・関連産業と連携し、久留米市の農業や農産物、農村の魅力を発信します。

また、農業の公益的機能や地産地消の推進等を通じて、市民の食料・農業・農村に関する理解促進を図ります。

指標項目	単位	基準値 (R7)	目標値 (R12)
農業都市・久留米の認知度	%	62	70
久留米産農産物を食べるよう意識している市民の割合	%	51.7	65
学童農園参加割合	%	86.4 (R6)	100
農業・農村の持つ多面的機能の認知度	%	57.4	65

R 8 年度 実施計画

担当課

1 「農業都市・久留米」の魅力発信によるブランド力向上

安全・安心な久留米産農産物の魅力発信事業

久留米産農産物の安全・安心、魅力を PR する動画をイベントやデジタルサイネージ、久留米市農産物販売力強化推進協議会が直売所やスーパー等に設置しているモニターで放映し、「農業都市・久留米」のイメージ向上・定着を図る。

大都市圏の市場関係者等に向けた PR イベント（予算 800 千円）

大都市圏の市場関係者等を対象に PR を行うことで、久留米産農産物の認知度向上や取扱量の拡大を図る。

- ・ 10 月(予定) 福岡市中央卸売市場
- ・ 11 月(予定) 大阪市中央卸売市場

（事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会）

消費者に向けた久留米の農業・農産物 PR（予算 150 千円）

大都市圏で久留米の農業・農産物についてマルシェ等を開催し、「農業都市・久留米」のイメージ向上・定着を図るとともに、農業都市ブランド力強化のために久留米農業のファン獲得を図る。

（事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会）

くるめふるさと大使及び市民による魅力発信（予算 600 千円）※再掲

知名度の高いくるめふるさと大使を活用し、くるめ農産物 PR アンバサダーとして久留米産農産物の魅力を発信し、認知度向上と「農業都市・久留米」のイメージ定着を図る。また、市内イベント等において、参加型企画を実施するなどし、市民の主体的な参画を通じて、自発的な情報発信を誘発する仕組みを構築する。

「道の駅くるめ」の情報発信力向上

大型屋根や出荷物等調製施設を活用し、魅力的な農産物の集荷体制・販売力の強化に努めることで、久留米産農産物の魅力を発信する。

また、デジタルサイネージ等で近隣地域へのさらなる周遊を促す。

農業の
魅力促進課

「道の駅くるめ」の機能強化 大型屋根を整備したイベント広場をより効果的に活用することにより、「道の駅くるめ」における農産物販売を充実していくとともに、地域との連携を深め地域情報の受発信機能を強化していくことで地域活性化を図る。	農業の魅力促進課
道の駅くるめ施設改修等の実施（予算 11,352 千円） 道の駅くるめの来場者の安全・安心、利便性向上に向けた、第2駐車場整備に伴う横断歩道等の整備や大型屋根野鳥侵入防止ネットの修繕などを行い、道の駅くるめが地域活性化に寄与していくよう努めていく。	
緑花木の情報発信（予算 4,500 千円） 道の駅くるめのイベント広場を活用した、緑花木 PR イベントの開催やつばきフェア等の開催を支援する。また、つつじまつりについては、同まつりを長年牽引してきた実施主体の状況変化に合わせ、実施体制の転換を図るなどし、「久留米つつじ」や「久留米つばき」等の久留米産緑花木の魅力発信を図る。	
久留米つつじのPR（予算 275 千円） ●市内小学校で久留米つつじの歴史等を学習するのにあわせて、植栽を行うための苗の提供と植え付け指導を実施し、市民への久留米つつじの宣伝・普及及び愛着の醸成と認知度向上を図る。 ●ふるさとくるめ農業まつりでの PR 久留米アザレアを配布し、実際に緑花木の魅力に触れることで、緑花木への愛着等の醸成を図ることで、消費拡大につなげる。	
久留米市世界つつじセンターとの連携（予算 52,680 千円） ・久留米つつじの更なる品種の収集に努め、その情報を発信する。 ・市庁舎等に久留米つつじを展示し、PR を行う。 ・久留米つつじを始めとした、ツツジ類の保存育成を行う。 ・久留米つつじ生産者への親木の提供など多様な品種の生産振興に努める。	

2 地産地消を通じた魅力発信

久留米産農産物の表示強化（予算 95 千円） ●スーパーや小売店での表示強化 市内のスーパーやJAと連携し、久留米産農産物のコーナーにのぼりやパネルなどを設置することで久留米産農産物を購入しやすい環境を整備する。 （事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会）	農業の魅力促進課
地産地消推進店の拡充とPR（予算 1,200 千円） ●地産地消推進店のPR 市のHPや農業まつり等のイベントにおいて広くPRする。 ●地産地消のPR事業 地産地消の取組みに積極的な地産地消推進店を応援するPRイベントやSNS等を用いて地産地消の情報発信を行う。	
久留米産農産物の料理講習会（予算 865 千円） 久留米産農産物を使った料理講習会を開催し、久留米産農産物の旬や食べ方について普及し、地産地消の意識向上を図る。	
学校給食への導入支援 久留米産農産物の消費拡大を図ることを目的にJAくるめ青年部が取り組んでいる学校給食導入のためのジャガイモ栽培を関係機関と連携し推進する。	農業の魅力促進課

生産者・市場関係者との意見交換 市場関係者等による定期的な情報交換や理解促進を図る取組を進めることで、集出荷機能の強化を図る。	中央卸売市場
---	--------

3 食料・農業・農村に関する理解促進

食育啓発展示の開催 各種イベントや公共施設等で、パネル展示等を通じて「食」と「農」及び食育の理解促進を図る。	農業の魅力促進課
食育通信の発行 毎月 19 日に、市公式ラインを活用して各基本施策の取組を記載した食育通信を発行し、久留米産農産物の販売情報やイベント告知など「食」と「農」の情報発信を行う。	
久留米産農産物の料理講習会（再掲） ※「2 地産地消を通じた魅力発信」参照	
学校給食への導入支援（再掲） ※「2 地産地消を通じた魅力発信」参照	
ふるさとくるめ農業まつりの開催（予算 9,779 千円） 生産者と消費者の交流や、農業・農村の多面的機能や地産地消の取組について情報発信を行い、市民の食と農への理解を促進する。	
消費者に向けた久留米の農業・農産物 PR（予算 270 千円） ●農産物マルシェの開催 市内量販店で久留米産農産物マルシェ等を開催し、久留米の農産物を PR するとともに、市内での消費拡大を図る。 ●久留米産農産物 PR 動画放映 直売所等に設置した電子ポップモニターや、市内デジタルサイネージ等で「くるめさん、ぐるめさん」等を放映し、久留米産農産物の PR を図る。 （事業主体： 久留米市農産物販売力強化推進協議会）	生産流通課
体験交流促進対策事業（予算 4,911 千円） ●学童農園 幼少期より農業農村に理解を深めてもらうため、小学生を対象に田植えなど農作業体験や農業者との交流を図る。 ●市民農園 都市住民に農業体験の場を提供し、農業農村への理解と関心を高めることを目的に開設	
中央卸売市場による情報発信（予算 2,600 千円） 市場の機能・役割等の理解促進のため、市民・消費者に向け、市場まつり（時期未定）、いちば de マルシェ（毎月第三土曜日）などを実施する。 また、市場内関係者が連携して、市内店舗等で PR イベントを実施する。	中央卸売市場
イベントや公共施設等での情報発信 農業まつりや環境交流プラザ、市立図書館等で農業の多面的機能の役割を示したパネルを展示し、理解促進を図る。	農業の魅力促進課
農業体験等事業（くる農・泊まらん農）（予算 3,129 千円） 農業体験や農家民泊等に取り組む農家や団体等を支援することで、農業・農村の理解促進を図るとともに、農家所得の向上を図る。	